

会 議 録

| | | |
|-------|--|--|
| 会議の名称 | 第52回小金井市公立保育園運営協議会次第 | |
| 事務局 | 子ども家庭部保育課 | |
| 開催日時 | 令和2年1月18日(土) 午後3時30分～5時16分 | |
| 開催場所 | 市役所第二庁舎8階 801会議室 | |
| 出席者 | 五園連 | 宗片 匠 委員 (くりのみ保育園) 鈴木 丈士 委員 (くりのみ保育園) 大島 康宏 委員 (わかたけ保育園) 間 綾乃 委員 (小金井保育園) 中 英弘 委員 (小金井保育園) 本間 義顕 委員 (さくら保育園) 小林麻意子 委員 (さくら保育園) 大越 郁子 委員 (けやき保育園) 角田 真理 委員 (けやき保育園) |
| | 市 | 大澤 秀典 委員 (子ども家庭部長) 三浦 真 委員 (子ども家庭部保育課長) 平岡 良一 委員 (子ども家庭部保育政策担当課長) 前島 美和 委員 (くりのみ保育園園長) 杉山 久子 委員 (わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員 (小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員 (さくら保育園園長) 池田由美子 委員 (けやき保育園園長) |
| 欠席者 | 佐藤 公美 委員 (わかたけ保育園) | |
| 傍聴の可否 | ○可 ・ 一部不可 ・ 不可 | |
| 傍聴者数 | 11人 | |
| 会議次第 | 1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) 第Ⅲ期での協議内容について ア 令和元年アンケートについて イ 民営化について (3) 当面の課題について (4) 第Ⅲ期の締めくくりについて (5) その他 | |

| | |
|---------------------------|--|
| 発言内容・ 発言者名（主な 発言要旨） | 別紙のとおり |
| 会議結果 | 1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) 第Ⅲ期での協議内容について ア 令和元年アンケートについて イ 民営化について (3) 当面の課題について (4) 第Ⅲ期の締めくくりについて (5) その他 |
| 提出資料 | (1) 資料240 職員募集配置状況 |
| その他 | なし |

開 会

- 大澤委員長 それでは、これより小金井市公立保育園運営協議会の会議を開会いたします。
- 初めに、議事の（１）、前回の会議録の確認を議題とします。
- 前回の会議録につきまして、委員の皆様にご校正をお願いしましたが、提出期限までに事務局宛てに訂正等の連絡はいただいておりますので、前回の会議録につきましては、校正依頼をした内容をもって確定とさせていただきますと存じますが、よろしいでしょうか。
- 特段ご異議がございませんので、会議録のほうにつきましては確定をさせていただきますと存じます。
- なお、こちらのほうの会議録につきましては、速やかにホームページに公開をさせていただきますと存じます。
- 次に、（２）第Ⅲ期での協議内容についてのＡのアンケートについてを行います。
- こちらにつきましては、前回の会議の中で今後のアンケートの活用方法などについて保護者委員、また行政含めて持ち帰ったところがございます。それで、この会議で意見を出していただくようお願いしたところでございますが、まず、保護者委員のほうからご報告等があれば、よろしく願いいたします。
- それで、すみません、先に、とりあえずこのアンケートをとった経緯というんでしょうか、そういったものを簡単にちょっと事務局のほうから、お願いします。
- 平岡委員 では、平岡のほうで、大変簡単なんですけれども、運営協議会でこのアンケートを行うに至ったきっかけについて、簡単にご説明させていただきます。
- もともと運営協議会がスタートする前から、こちらのアンケートについては、五園連さんの中でアンケートという形で実施されていたというふうに認識しております。
- それにつきまして、このような会がもたれることになったことによって、せっかくですので、運営協議会として、市も含めて、一緒にとるような形に変えていきたいと思います。というようなお話から運営協議会でとることに移ったというように私のほうでは前任から引き継いでいるところでございます。

したがいまして、特にアンケートの一つ目と大きな1番と大きな2番につきましては、大きく項目を変更することなく、そのままずっと使ってきていて、三つ目以降については毎年テーマによっては変更したり、物によっては四つ目をつくったりなど、毎回相談をしながら変えたり継続したりというふうな判断をしてきたというふうに認識しているところでございます。

そのような形で、このアンケートを運協のほうでとるようになったというような経緯を、まずご報告させていただきます。

○大澤委員長　今、平岡委員のほうからこのアンケートをとってきた経過というところを、今ご説明をさせていただきます。

では、このアンケートの市の考え方につきまして、まず冒頭、三浦委員のほうからお願いをいたします。

○三浦委員　保育課長です。

それでは、アンケートについて市の考え方を私のほうから発言をさせていただきます。

アンケートにつきましては、これまでもご質問にお答えするような形でご答弁さしあげたところもございましたけれども、市の考え方といたしましては、保護者の皆様のご意見、ご要望等、満足度についてトレンド的にはかるという点では、一応把握できているのかなという思いもございます。

一方で、ただいまご説明いただきましたとおり、経年比較という観点もございまして、大項目の1、2については、毎年アンケートをとっていく必要があるのかなというふうに考えてございます。

したがいまして、結論といたしましては、大きく1番、2番につきましては、ご継続をお願いしつつ、3番、4番については、少しアレンジができるかなというふうには考えるところでございます。

私からは以上でございます。

○大澤委員長　今の考え方は、今、市のほうで考えている考え方というところをお話をさせていただいたところです。

それらを踏まえまして、保護者の委員のほうの考え方というところに関してご発言をお願いしたいと思います。

本間委員。

○本間委員長　さくらの本間です。

まず、ちょっと、逆に市の今のお考えのところについて、質問なんですけれども、今いただいたのは、1と2については今後もっていったらいいんじゃないかというところだったと思うんですけれども、例えば自由記述欄とかも含めて、市としてどのような項目があるといいなとか、あとはこういう項目はぜひ市の施策に取り入れられるなとかというところについての、要は分析の方法とか、アンケートの項目についての希望とかというのは、特段はほかにはないですかというところをちょっとご質問です。

○大澤委員長 三浦委員。

○三浦委員 三浦でございます。

まず、アンケートでございますので、一つは公立保育園にご通園いただいている保護者の皆様の生の声ということで、定量的に見るところが一つ大きな目標かなと思ってございます。

自由意見欄につきましては、定性的なご意見も含め参考にさせていただいてございませけれども、一つ一つ個別の意見についてご回答さしあげるのはなかなか難しいという実態もございます。したがって、1番、2番につきましては大きく、先ほど申し上げたとおり、分析が可能というところですが、3番、4番につきましては、貴重なご意見、生のご意見ということで考えてございますので、分析といいますか、生のご意見をいただいて、その部分を反映できるところを反映していくというところで整理をさせていただきます。

私からは以上でございます。

○大澤委員長 ほかに、保護者委員のほうからございますか。

角田委員。

○角田委員 けやきの角田です。

アンケートの件について、何でしようもこういう議題に上げられているのかというと、もともとそのⅢ期でことしのアンケートをどうしましうかみたいな話になったときに、もともとのこの第Ⅲ期の運協のゴール設定がすごくあやふやな中でアンケートが一体何に、どうひもづいていくのかわからないからどうしようかというのが初めにあったと記憶しています。それがちゃんと定まっていなかったから、うまく分析できず議論につなげていけないという大きな問題があったので、やはりおっしゃっていただいているとおり経年データとしての意味合いはあるので重要だとは思いますが、その点がうまく解決していけないと、やはり協議に生かしていけないので、その点、運協の内容を含め

て、しっかり検討して内容等も調整していく必要があるなというふうに考えています。

今、ちょっと三浦委員のご発言を聞いていて残念だったのが、貴重なご意見みたいな、この3番、4番に関しておっしゃっていて、それじゃあ議論に生かされないよねというのを正直感じたところなので、やはり目的設定をちゃんとした上で、議論につなげていけるようなアンケート設定していくべきであると思いました。

以上です。

○大澤委員長 今、角田委員のほうからのご意見というような形でご発言をいただきましたが、ほかに。

○本間委員長 今の角田委員の発言と関連なんですけど、一応念のためにお伺いしたいのは、多分、この第Ⅲ期の最初の冒頭のときから同じ議論をしているんですけども、市のほうとして運営協議会をこういう場にしていききたいとか、こういう議論もつとしていききたいから、じゃあ、アンケートの位置づけで、今までどおりでいいよねなのか、こう変えていききたいよねとかという考えは特になくて、経年比較をとっているから1、2の項目は引き続きとればいいんじゃないかというぐらいのご意見であるというところで認識は合っていますでしょうか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

Ⅲ期の最初のころからの経緯もあるので、私のほうでお答えさせていただきます。今、本間委員長から言っていた部分でほぼ市の考え方は一致しているかなというふうに思っております。やはり、継続的に満足度ですとか、ご意見とか、状況をとっていくという趣旨の必要性というのは、市としても認識しているというところですけども、そのときそのときでテーマを決めてポイントを絞ってというところまでの目的のところまでの想定は現状ではないというふうな形になるかなと思います。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

大島委員。

○大島委員 わかたけの大島です。

3と4の質問に関しまして、市としてこれは見直したいというご発言があったと思いますが、それがどういう形で見直したい、または考えていくかがわからないと、きょうこの場での協議がなかなかできないんですけど、そこをもう少し、じゃあどういうふうに考えているかというのをいただけないでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

すみません。見直しという趣旨では実はなくて、もともとの、私もここで3年目ですので、アンケートとしては3回目となるんですけども、今まで1と2については、状況が動いてきて文言が不適切な場合に変更したりした程度で、基本的には選択肢も含めてほとんど変えないでとってきたという経緯があります。

その一方で、3以降については、最後の自由記述は変わっていないんですけども、3以降については、毎年何をとりましょうかというのを運協で話をして、ことしはこのテーマにしようねということを決めて変えてきていた経緯があったんですけども、Ⅲ期に入ってから、そもそもこのアンケートをどうしていくのかということからスタートしたものですから、そこの各論のお話まで行く前のところで、時間を大分いただいてしまったので、では前回と同じ項目で、この項目は重要だから前回と同じ項目で3以降も行きましょうという整理になっていたかなと思います。

ですので、三浦委員のほうで言わせていただいたのは、1と2はもともとずっと同じ形をとってきたんですけど、3以降は毎年変えてきていたほうが多かったので、そういう意味での観点のほうで言わせていただいたということなので、とる必要があるなしとかということではなくて、もともと毎年同じ項目をとる部分ではなかったものが、このところでは継続していたということから、そのような形でのお話をさせていただいたということになります。

○大澤委員長 大島委員。

○大島委員 先ほど、本間委員からもございましたけど、例えば市としてアンケートとしてとりたい項目、1と2は継続、トレンドを見るというお話がございましたけど、そのほかには何があるんでしょうか。

○三浦委員 ごめんなさい、ちょっとご質問の趣旨がよくわからないんですけど。

○大島委員 もう一度言いますと、1と2は継続としてトレンドを見ていきたいというお話をいただきましたと。そのほかアンケートをとる趣旨として、市として見ていきたいところ、利用者側からの吸い上げたい内容としては、どのようなものが、じゃあ考えられるんでしょうか。今、すぐこのアンケートの内容を決めるとかという話じゃないんですけど、今のお考えとしてどのようなものを持っているのでしょうか。

○三浦委員 市としてアンケートをとっていく項目についてのご質問。

○大島委員 市として、欲しい情報というのはどのようなものがございますかと。トレンドとして

は継続して見ていきたいというお話がありましたけれども、それ以外に関しては、どのようなお考えをしているのでしょうか。

○三浦委員 三浦でございます。

アンケートそのものについて、1番と2番について、自由記述欄もありますけれども、丸をつけるところが多いので、余りご意見をいただく部分が少ないというのは、自由記述はありますけれども、部分はございます。

3番、4番については、それを少し深掘りというんですかね、特に4番のところ、保育士さんの体制等々につきましては、皆さん、いろいろなご意見があって、それを生にいただいているという状況でございます。

このほかにどんな情報がというところでございますけれども、今ちょっとすぐにどうこうという話にはならないんですが、私どものほうも、もし継続していくということであれば、またちょっと考え方をどこかの機会で述べさせていただきたいとは思いますが、

○大澤委員長 大澤委員。

○大澤委員 きょうのこの場の趣旨がちょっとわからなくなっちゃったんですけど、きょうは意見交換の場で、何かを決めるというわけではないと思うんですけど、どこまでの話をするのがきょうの結論なんですか。

○大澤委員長 前回、アンケートに関しまして、市のほうから分析をさせていただいたところをお知らせしたかなと思っています。もともと、この第Ⅲ期を始める際にそのアンケートをもとに、何か、この場で議論していくものがあるかないかという趣旨もあって、アンケートをとったかなと思っています。要は、そこから題材を掘り出して議論するものがあるかどうかというところを、アンケートをとってから決めていこうというふうな形で多分これまで来ているのかなと。それに関して、前回の会議のほうでいかがでしょうかというふうなところが出たところ、特段、ちょっとそこまで議論は行かなかったというふうな感じがありました。

それと、じゃあこのアンケートを今後どうするかということも含めて双方持ち帰っていただきたいというふうなところが、前回の会議の趣旨だったかなというふうに思っております。

きょうのところにつきましては、もともとこのアンケートをとりあえず分析をさせていただいて、今、皆さん方のほうにフィードバックはさせていただいております。それ

らを踏まえて、この運協の場で取り上げていく議題というものがあるかないかというところと、あるいはあとはまた来年度以降、このアンケートに関して、市としては1と2についてはとっていききたいというふうな形の考え方を、今ご提案をさせていただいたと。

あと、要は来年度以降、またこのアンケートについてどういうふうにしていこうかというところを、まず整理をしていくというふうな形できょうの議題とさせていただいておるところです。

ですので、まず前回、今年度のアンケートを踏まえて、特化したところがないというような状況であれば、来年度に向けてどうするかというところを、きょうと、あと3月もございますので、そこに整理をしていく。

また、この後の第IV期のほうに、このアンケートの取り扱いを、またそのままのような形で引き継いでいくかというところにもかかわってくる部分になるのかなというふうには思っています。

ですので、前回の11月の分析等も踏まえて今後のこのアンケートの取り扱いというところに関して、一定整理をさせていただければというふうな思いで、きょうの議題としては挙げさせていただいているというところではあります。

○大島委員 理解できました。その中で、意見としてなんですけど、やっぱりアンケートはとることが目的じゃなくて、とった後をどう使うかというところが主体に置きたいとは思っています。じゃあ、今、自由記述がうまく活用できていないという状況でしたら、そこを活用できる仕方、内容としてはこの自由記述というところがリアルな話が出てくる、保護者の意見一つ一つが反映されていますので、これをどう生かせるかというところが、ぜひ考えたいと思っていますし、何かしらの答えを出したいと思っています。

まずは意見です。

○大澤委員長 今、自由記述に関して、市のほうといたしましても自由記述の中で、それが予算的に伴うものであれば、予算的な形で対応させていただくもの、または実際の保育の中で各園でご検討していただかなきゃいけないもの、その他、さまざまなものがあるかなというふうには思っております。ですので、我々、この自由記述につきましても、全員そこは読んでおりますので、そういったところで、とりあえずすぐできるもの、短期的なもの、中長期的なものでもあるかと思っておりますけども、そこに関しては自由記述というところもちゃんと見させていただいているという状況はございます。

ほかにも、委員さん、ご発言ございますでしょうか。

○本間委員長 補足ですけど、きょうこの場でこのアンケートについてというのをぜひ議論したかったのは、これはもともと五園連がやっていたという経緯は、もちろんそうなんですけど、運協でアンケートをとるというふうになってから、市としては、例えばこういう議論をしたいからこういう形式であつたらいいなとか、こういう質問項目があつたらいいなと、この間、運営協議会を何年もやってきているので、恐らく分析をする中で、こうしてほしいなというのがきっとあるんだろうなと思っていたので、こういう分析をして、こういうふうに生かしたいからアンケートはこういうふうにしてほしいというのが、何かしらあるのかなと思って市のほうにもちょっと持ち帰りをいただいたと。

一方で、保護者は保護者で、例えばもともとこの経緯でいけば対市懇談会というのを五園連でやっていて、アンケートというのはそれに使っていたというような経緯もあるので、対市懇談会に使うんだとしたら、やっぱりこういう項目があつたほうがいいよねとか、今のちょっと時期というのが、ちょっと遅過ぎるんじゃないかとか、そういうのもあって、保護者は保護者でこうしたほうがいいんじゃないかという意見もあつたよねと思ったんで、双方持ち帰ったということだと思います。

今、三浦委員から説明があつたのは、多分、ほぼ結論の部分で、アンケートの中で1と2は経年だから、毎年とっておいたほうがいいんじゃないですかという結論はいただいたんですけど、そこに至るまで、要は市としてこういうふうアンケートを使っていきたいから、最終的に1と2の項目はそのままでもいいんじゃないのという、そのプロセス、その前段階のところはちょっとご説明が抜けていたのかなと思うので、そこがもしあればちょっと先にご伺いしたいなというふうに思いますというところで。

そこで市のほうのご意見がわかったとなったら、今度、もちろん保護者のほうも一応五園連の中で話したので、そこでこういう趣旨でアンケートは位置づけていったらいいんじゃないのという議論も、ここでさせていただきたいとは思いますが、まず、その前段階のところはもしあれば、お伺いをしたいんですけども。

○平岡委員 平岡です。

すみません、三浦のほうで代表してお答えさせていただいたんですが、市側の委員長も含めてちょっと話はしたりして、お答えしたところであります。こちらのほうでは、もともと五園連さんのほうで用意していただいた項目はかなり多岐にわたっていますので、市のほうとしてさらに追加すべき項目があるかどうかというところについては、にわかには思い浮かぶ部分はなかったのかなというふうには思っております。ですので、1

と2については、選択肢含めて総括的にどうのご要望が強いのかということ等については、こちらとしては十分とれるものなのかなというふうに思っています。

その上で、それを何年か重ねていった中で、やはり、保護者委員の方から、逆に分析をしていただいたときもありましたし、市のほうではトレンドとしてはある程度出っ込み、引っ込みはあるにしても、ほぼトレンドとしては同じ状況が続いているというのは見てとれたというようなところが一つあるかなと思っています。

その中で、項目についてさらにふやすほど項目は限定的ではなかったもので、その部分については、今後とっていきたいという趣旨では、1と2についてはこのまま逆に変えないほうがいいのではないかなというような意見も一部にはありつつ、そのような形での検討の結果という形でお答えをさせていただいたというところであります。

一方で、3以降については、私も再三申し上げているんですけど、もともとそういうやり方でやってきたところもありますので、同じ質問だけで毎年とっていくのはもったいないというところもありますので、それはやはり先ほどの目的設定というのが、アンケート全てに至るのか、毎年変わっていく部分を特に特別に扱っていくのかという部分もあるかと思うんですけども、そういう部分についてはまた運協の中でお話をしていくこともあるかなというふうに思っております。

そういうような意見交換というか、検討した中での市の今回のご回答というところに至ったという形になります。

○本間委員長　まとめると、なので、市として一番は、まず保育ニーズのトレンドを押さえたいというのが一番の趣旨で、それに関して言うと1、2番の、つまり自由記述を除いたところということですかね、項番で選択項目のところがあれば、十分トレンドは押さえられるというふうな認識をしていますというのと、項番3、要は運協でその時々で必要になった項目があればそれを入れればいいんじゃないかということで、特段、今、市としてこういうものを入れてほしいとか、ぜひこういうのをやりたいという意味は、何か持っているわけではないというのが、今認識したものですけど、認識相違はないですかね。

○平岡委員　平岡です。

今、まとめていただいたとおりにかなと思います。

○本間委員長　市の、今のアンケートについてというところで、追加でご質問はありますか。

○宗片委員　くりのみ、宗片です。

運協のアンケートをとるのって、施策があった上で、じゃあ施策をどう進めていけば

いいかというのを保護者の意見を聞くというのと、あとニーズとしてアンケートをやっ
て、その中からやっていくべきことを、施策を決めるという、2方向あると思うんです
けれども、ここ数年アンケートをとってきた中で、施策に生かされた項目とか、何かそ
ういう内容はあつたりすれば教えていただきたいんですけど。

○平岡委員 平岡です。

具体的にこの項目が直結したという部分は、結論から申し上げるとなかなかストレ
ートにお答えするのは難しいかなと思っています。やはり、トレンドを見ている、皆様
のほうでのいただいたご意見としては、やはり人員と、それから施設の老朽化の部分と、
ここのところで民営化の内容が大分出てきたかと思っていますが、その三つが全体の中
で特に多かったかなというふうな認識を持っています。

施設の部分については、このアンケート以外でもやはり五園連さんの対市懇の中で出
てきた具体的な意見、要望であるとか、そういうのも全て含めた上で市のほうでも、課
の中でも優先順位をつけておりますし、市全体の中でも予算の確保の問題から、とれた
ものについては対応してきている部分はあるかなというふうに思っておりますので、そ
ういう部分については、こちらとして今まではそこまで具体的には申し上げておりませ
んでしたけれども、今後、例えば新しく工事や修繕などで特別な予算が確保ができたと
ときには、そのような具体的な返し方というのもできるかなというふうには思っておりま
す。

それ以外の部分については、記述の部分も含めて、前にもお話ししたんですけども、
実際の園で対応している部分も多々ありますので、園長のほうにも共有をしていただい
て、改善できる部分について、よりよくできる部分についてはやっていただいていると
いうふうには認識しているんですけども、具体的にここがこうしたというのは、確かに
明確にお出ししていないので、アンケートをしていただいているが、とってみるとちょ
っと何のためにしているのかというご意見も以前運協でいただいたことがあると思うん
ですけども、ちょっとフィードバックが弱いというところは市のほうでも認識してい
るんですが、なかなかそのトレンドとして出てくるものがきれいにお返しできるほど簡
単ではない部分が多々ありまして、なかなかお返ししづらいというか、できていないと
いうのはあるかなというふうに思っています。

○大澤委員長 結局、アンケートをとった後に、たとえ予算的なものとか、何か改善されたものをこ
の場でご報告してほしいというようなご意見も、分析をしていた際にも出たのかなと

思っています。ですので、そういったご意見につきましては、動きができた点では、また改めてこういう場でご報告をさせていただくというような形になるのかなとは思っています。

○宗片委員　　くりのみの宗片です。

例えば病児保育の施設が新しくできたときに、じゃあその施設の大きさとかはどれぐらいにするかは結局ニーズみたいなのがわからないとわからないのかと思うんです。アンケートは、公立に限ってやっているんで、民間の人でも使う方がいらっしゃると思うので、どれぐらいのキャパで済むのかとかは、実際の統計みたいなものはとっていたりとかするのでしょうか。

○平岡委員　　平岡です。

今回の病児保育の点で申し上げますと、市の子育て全体の計画のほうで量の見込みを立てる手法が全国的に一律でありまして、それに基づいたニーズ調査から、どのぐらいの方が利用したいのかということで年間の量を出しまして、それに対して定員、必要な定員を割り出していくようなやり方をしているんですけども、その一方で、やはりちょっと病院等ではもともとない、保育の部分でありますので、一般的な施設の整備する量として、そんなに多くの定員を設けている例というのが、三多摩の中でもほぼないんです。ですので、3人から6人、もう少し多いぐらいが1施設大体平均的なというか、一般的な定員数になりますので、そういった部分も勘案しながら今回は4人定員、1日4人、最大定員ということで整備をしたというのが今回の設置の根拠になります。

○大澤委員長　　どうぞ。

○宗片委員　　一応、その公立でせつかくアンケートをとっているのであれば、公立の施策に限ってしまうんで申しわけないんですけど、またどこでニーズとか共有していただける場が……。

○平岡委員　　ありがとうございます。

○大澤委員長　　ほかにご発言ございますでしょうか。

総体的なところに行きます前に、1と2については、また継続というような形でとっていきたく、3、4という形につきましては必要があればということで、今、一つ意見として出ておるところかなと思ってございますが。

○本間委員長　　じゃあ、市側のアンケートに対するというところは、必要に応じてそうなので、例えば逆に保護者側としてこのアンケートはこうしていったほうがいいよねというご意見が

あれば、いただければと思うんですけども、ちょっと先に私のほうから話をしてしまうと、五園連の中で話をしてる中では、対市懇談会も一つあるので対市懇談会という観点からすると、もう少し早く分析したほうがいいよねというのがあって、それは自由記述欄も含めてなんですけど、特に対市懇談会に要するという点は、多分自由記述欄とかに出てきているものが、これは、あと対市懇談会でのもと資料になっていくところが結構あるのかなと思っていて、なのでそこを含めてもう少し早く分析しないといけないよねというところが出ているのと。

あとは、対市懇談会だけではなくて、じゃあ、五園連として、やっぱり課題認識したものを、もう少しちょっとスピーディーに項目に反映してアンケートをとっていかないといけないんじゃないかという問題意識も持っているので、きょう、そこを踏まえてアンケートをどうしていったほうがいいのかというのが。それは、どちらかという、アンケートのとり方ですね、今、紙でやっていて、全部手書きになっていますけど、やっぱりそこが一つネックになって、分析にもかなり時間がかかってしまっているところもあるのかなと思っているんで、その辺のやり方も含めて改善する余地があるんじゃないかという意見が出ていましたというのと。

一方で、今、市側からおっしゃっていただいたのと同じで、ここは1と2の項目というのは、今まで経年というところも含めてずっととってきている項目なんで、これはこれでそのまま残したほうがいいんじゃないかというご意見はいただいている。そこは一緒なのかなというふうに思っています。

ただ、一方で、じゃあ、やり方について、例えば、じゃあ、運協でやるんじゃなくて五園連でやりましょうとかというふうにしても、ちょっと今、もう1月でもうすぐ五園連は期が変わってしまうので、来年度いきなりというのはちょっと難しいのかなというふうにも認識をしているので、ある意味ではIV期に入ってから少し議論をした上で、変えるなら変えるというふうになるのかなというような意見が出ていますので、今すぐには何かを、建てつけを変えるというよりはIV期に継続すべきことなのかなというふうには話が出ていますというところです。

そのほか、何か補足があれば。

○大澤委員長 大島委員。

○大島委員 わかたけの大島です。

先ほどの私の言葉と重なってしまうんですけど、やはり自由記述のところの一つ一つ

の意見、これは例えば1人の人が書いたとしても同じことを思っている人が複数いる可能性がやっぱりありまして、1人が書いているからといって全体の1人だけが思っていることでは決してないと思っています。

じゃあ、これをこの言っている意見が一人だけの意見かどうかって、なかなかこのアンケート結果からはわからない。それは分析かもしれないんですけど、それは難しいと思っています。じゃあ、そこをもう少し進めて、その意見が複数の人が持っている意見かどうかというのをきちんと把握できる仕組みというのはどうしても確立しないと、せっかくとっているアンケートがやはり活用されないで終わってしまうのかなと思っています。

今後の、これは話になってしまうんですけど、例えば、各園ごとに自分たちに園で、やはりこれは重要な意見であるとかという形で集約がうまくできれば、市としてもこれは多くの方が、この園では抱えている大きな問題とかという認識ができて、活用の方法、または返答の仕方に対してもうまくできるのかなというのが、ちょっと意見として今思いました。

○大澤委員長 自由記述の方向の扱いがいろいろ、どういう意見が最終的にそれが多かったかというふうな形が、うまく各園ごとにまとまればというような言い方のご発言かなというふうに思います。

ほかにございますでしょうか。

今、ちょっと出た意見的な形で、保護者のほうとしては1と2については、おおむね我々と同じように一致はしている部分はあるのかなというふうに思っています。

あと、細部につきましては、また次のIV期というふうなところでの、また議論もというふうなご意見も出たのかなと思っています。

あと、やり方というか、アンケートのとり方というところで、状況によればこの運協じゃない場というところも検討していく場があるんじゃないかというふうな形の意見もちょっと出たかなと思っております。

それで、きょうの時点というところにつきましては、まず1と2は運協のほうでというところは、今一致しているところなのかなというふうに思っております。その他、3、4というところにつきましては、また3、4、それと今後のアンケートのとり方というんですか、やり方、またはその自由記述の欄というところにつきましては、ちょっときょうの中ではご意見というふうな形で整理をさせていただき、そういった状況を第

Ⅳ期のほうのところはちょっと記載をしていくとかというふうな形で、きょうのところにつきましては、まず1と2については、とりあえずまた来年とっていこうというところでまとめさせていただくという形でよろしいですか。

じゃあ、そのように、とりあえず1と2につきましては、引き続きというところで、あときょう出たところにつきましては、またその部分はまた整理をさせていただいて、次のほうの第Ⅳ期のほうの引き継ぎというところも含めて、ちょっと調整をさせていただきたいというふうに思います。

それでは、続きまして次の次第、第Ⅲ期での協議内容についてのイの民営化についてを行います。

今回は、市のほうからの資料の提出はございません。まずは、市の現状等につきまして、平岡委員のほうから説明をさせていただきたいと思います。

○平岡委員 平岡です。

それでは、民営化における市の現状というところについて、冒頭私のほうでご発言をさせていただきます。

昨年11月に市議会の厚生文教委員会が開催されまして、この中で市長のほうから議員さんに答弁する形でしたけれども、公立保育園民営化は今後につきましても、より丁寧な対応、検討が必要だと考えております。保護者を初め、市民のご理解をいただくため、あらゆる可能性を排除せず、待機児童の解消、保育の質の維持向上、多様な保育ニーズへの対応など、子育て環境の充実にに向けた取り組みを進めてまいりますという発言を答弁という形でさせていただきました。

私たち部局としましては、この答弁を受けまして、現在庁内で整理、検討を行っているところをごさいます、本日時点で新たな資料をお出しするところには至っておりません。また、何か新しいご説明ができる状況でもないというところをごさいます。

このような中、ご質問やご意見等いただいたとしましても、これまでどおりのお答えをさせていただく形となるかなというふうに思っております。市の現状として、そのような状況でございましたので、今回は資料の提出はせず、このご説明をまずさせていただいてから、この議題を進めていただければと思います、冒頭、発言をさせていただきました。よろしく願いいたします。

○大澤委員長 今、平岡委員のほうから、市の現状というところで発言をさせていただき、そういった観点から現在庁内で整理、検討しておる状況でございます。そういったところで、こ

ちらのほうの民営化につきましては、新たな資料というところに関して、きょう整えている状況ではないというところでございます。そういったところで、きょうにつきましては、今の発言等も受けまして、それらを踏まえて意見交換、または質疑等を受けさせていただくというような形で、本日このところは進めさせていただきたいというふうに思っております。

そういったところで、何か委員さんのほうからご発言等ございましたら、よろしくお願いたします。

角田委員。

○角田委員 けやきの角田です。

今のご説明で、市長発言があったから、それを庁内で整理、検討するために資料は出せないというお話だったんですけど、今の市長のご発言を聞くと、引き続き丁寧に進めますということと、あらゆる可能性を否定しないという、ちょっとそこはよくわからないんですけど、その2点に集約されるかなと思うんですけども、内部で今、何を検討されているのでしょうか。市長として民営化の考え方は、特に変わるような発言ではなかったと思いますし、ちゃんとやってくださいねということだとは思いますが、新たに何を検討する必要があるのか、ちょっと保護者のほうではびんとこないんですが、何について今検討されているんですか。

○平岡委員 平岡です。

今回、今、ポイントで言っていたいただいた後半のほうの、あらゆる可能性を排除せずという発言をさせていただいておりますので、今、市のほうとしてはあらゆる可能性を排除しなかった結果としてお出しはしているというところでありましてけれども、その時点、今の時点でもう一度その発言をさせていただいたところを重く捉えて、今回同じような話を繰り返しさせていただくのではなく、もう一度内部で整理をしてから、きちんとご説明をする時間をいただきたいというふうに考えております。

○角田委員 ありがとうございます。ちょっと、意味がよくわからないんですけど、要するに市としては、これまでもあらゆる可能性を否定せずに資料を出したりしてきたということなんですよね。であれば、それを再び持ち帰って検討をする必要もないと思うんですけど、何か変わるんですか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 今までと状況が変わるかどうかも含めて、今までと同じ部分での発言の中であらゆる

可能性を排除せずという言い方を今までは多分してはいなかったかなと思っており
ますので、そのような言葉が使われた部分も含めて、内部でお話をするに当たっ
てもう一度整理が必要だなというふうに部局としては捉えておりますので、それ
についてこちらのほうで整理をしているところというようなところとなります。

○角田委員 　　ちょっと、よくわからないです、それについては、わかりました。

　　きょうの次第を見ても、すごく奇妙な状況になっているんですけど、第Ⅲ期
での協議内容についてということと、第Ⅲ期の締めくくりについてという真逆
のことがもう共存しちゃっていることがもうおかしいと思うんですよね。そも
そも第Ⅲ期での協議内容についてという項目はなぜあったかということ、も
ともと第Ⅱ期の締めくくりで申し送りに当たって、五園連側の要請に耐える資
料が出ていないという整理をもうお互いにしておりまして、そのときに、じゃ
あこの第Ⅲ期どうやったらうまく議論をしていけるかという話を初めにした
ときに、それをうまく進めていくために、じゃあどうい話を、どれぐらいの時
間をかけてやっていくかということを決めましょうということで、この話がス
タートしたと思っているんですよ。それが締めくくりの時期に来てまだこの表
題が出ていることはすごく異常だと思うんですけど、それについて、市のほう
でどのような整理をされていますか。

○大澤委員長 　　平岡委員。

○平岡委員 　　平岡です。

　　整理というか、今言っていたとおりの状況であるなという認識であります。

　　その一方で、Ⅲ期が後、今回を入れて2回で終わるという状況であるとい
うのも事実でありますので、このタイトル自体がまだ続いているということは、
それについて当初からお話している部分についての整理なり、合意なりがなさ
れていないので、これが続いているというよう形の認識でございます。

○角田委員 　　ちょっとよくわからない。それについて、市のほうでは何らか
よくなかったかなとか、そういうことは思っていないくて、ああ、できなかつ
たなという程度のことなんですか。

○平岡委員 　　平岡です。

　　すみません、ちょっと私の理解が悪くて申しわけなかったですけど、整
理を何かしているというわけではないです。申し上げたとおりの事実であるとい
うふうに思っておりますので、それがいいことであるとは思っておりませんし、
ただ、これまで1年以上その議題を出したままお話をできて結論が出なかつ
たものが、ここ1回、2回で何か

出るというような考えも持っておりませんので、それについては進め方を含めて反省すべき点であるというふうには市のほうとしては理解はしております。

○角田委員 ありがとうございます。すごくよくない状況だと思っていて、もともと市長発言のことはさておき、それ以前のことで考えても、昨年1月に示されたスケジュールが出てきた段階で幾らたたき台とはいっても保育計画ができ上がる前に民営化ガイドラインができる内容は、一般の保護者からして、すごく乖離していますよって発言がありましたよね。その後、去年の5月に修正したスケジュールが、お願いしているんですけど、それってその後出てきていないんですよ。もう1年たつかというところにきているので、それ自体がもうすごくおかしな話だと思っていて、本当に市として、保護者と信頼関係を持って協議をしていくおつもりがあるのかというのは、正直、物すごい疑問な状況になってしまっていると思うんです。

新たな資料を出せないというふうもおっしゃるんですけど、特にこちらとして新しい見解とかを求めているわけじゃなくて、市として考え方をまとめた以上、それをまとめるためにはちゃんと根拠があってそのもとでまとめているわけだから、それはもう既にあるものを出してくださいと言っているのに、それがずっと出てこない状況、的外れなものが出てきたりとか、ここ1年強に関しては、以前出てきたものがそのまま出てきたりしてきているような状況が続いていて、それで保護者と信頼関係を築いて話していきたいと本当に市が思っているのか疑問なんですけど、そこはどうなんですか。保護者の理解を得て進めていきたいというお考えは、今あるんですか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

先ほどちょっと紹介させていただきました市長の発言にもありましたけれども、市としては当然保護者の方の理解を得る努力をしていく必要はあるという考え方に変わりはありません。ただ、それが応えられていないという現状が続いているというのも理解しているところであります。

○角田委員 角田です。

あと、このⅢ期が始まるときに、ちゃんと議論していくために2カ月に一遍という周期でやっていることもあって、前回何が話され、何が課題で、次回に何を積み残したのかということもお互いに把握して、準備していけるように毎回確認しましょうという約束を初回にしているんですよ。それってその後どうだったかというと、1回も出てき

ていないんです。これも市のほうで負担にならないようにⅡ期の終わりのころに本間委員長がフォーマットもつくって渡されているという発言もあったんですが出てきていない。そのⅢ期の途中でも毎回何が出てくるか、当日配付のような資料もある中で、それに対して、出てきたものに対して何か意見をしたり、質問したりするというのも議論として、議論の成り立ちとしておかしいから、それも何とかしていきましょうよという話を保護者側からしているのに、それも一切何も改善されずにここまで来てしまっているじゃないですか。そういった点に関してはどう捉えていらっしゃるでしょうか。

○大澤委員長 はい。

○平岡委員 平岡です。

民営化の部分のお話が主なのかなとは思っております。出せなかった、なぜ出せなかったかというところですが、出してこられなかったこと自体については申しわけなかったというふうにはしか申し上げようがないなというふうに思っております。

整理の部分についても、お互い共有して確認をする必要があるという認識はこちらも持っていたところではありますけれども、やはり会議をやっている中でも、市のほうで受け取って理解したと思った内容が全然違うというようなやりとりは多々あったかなというふうに思っています。ですので、なおさらそういうものが必要であるというお話だったのかなというふうには思っているんですが、こちらとしては受けたものについて、どのような形で出していくのがいいのかというほうにちょっと内部で作業の時間を使わせていただいてしまった結果、その整理とすり合わせという時間をとれなかったというのが現状かなというふうに思っておりますので、会議をより円滑に進めていくためにどうしたらいいかというのは、こちらとしても今後も考えていかなければいけないというふうには思っています。

○角田委員 ありがとうございます。その点も含めて、今後ご検討いただきたいと思っています。ありがとうございます。

○大澤委員長 今、角田委員のほうからご意見をいただいたところでございますが、ほかに委員さんのほうからご発言等ございますでしょうか。

宗片さん。

○宗片委員 くりのみの宗片です。

市長の発言のあらゆる可能性の排除して、かなり広い言葉だと思うんですけど、市としてはどの範囲までお考えなんですか。民営化をしないというのもありますし、公立園

ふやしますというのも多分範囲でしょうし、全園民営化しますまで、かなり広いかと思うんですけど。どういう範囲で可能性を排除せずというのを考えようとしているのかを教えてくださいたいんですけど。

○平岡委員 平岡です。

その範囲の部分の整理のところについても、内部のほうで何も基準というか、ルールなく検討するという状況にも至りませんので、まずその部分についての整理をしているというのが正直なところであります。

また、先ほどもちょっと、口頭で述べてしまったので大変恐縮だったんですけども、あらゆる可能性を排除せずという言葉が、前のほうと、後ろのほうと両方にもかかっていくようにも読み取れるような部分もあったりしておりますので、きちっとした形でこちらのほうで整理をしていく必要があるというふうに思っておりますので、今、宗片委員がおっしゃっていただいたあらゆる可能性という単語だけとれば、さまざまな部分があるかなというふうに思っておりますけれども、現実的な部分はある程度視野に入れた上での範囲かなというふうにも思っておりますので、そこがまだ内部の中ではきちっとお答えができる状況ではない。部局としてというか、事務屋としてお答えしていくような整理がついてないというところですので、それで今回については資料も含めてちょっとお出しする状況には至っていないというような形のご説明をさせていただいております。

○宗片委員 宗片です。

市長の意図としてはどの範囲なのかなというのは、部局として把握していないということですか。普通に考えると、そう言われたときに、じゃあ、それはどの範囲ですかと確認するのが普通だと思うんですけど、それはおもんばかりでどの範囲なのかをそんたくするのが部局の仕事なんだろうというストレートな質問なんですけど。

○平岡委員 平岡です。

こちらとして、今おっしゃっていただいたとおり、まずあらゆる可能性という言葉を受けて、こちらのほうでまず考えていくべきだというふうに思っています。ですので、おっしゃるとおり範囲については、どこまでの範囲かという確認を事前にしてから進めていく必要も、やり方もあると思いますし、部局の中でその言葉を踏まえてこういう範囲でこういうやり方、どういうやり方というものまである程度練ったものを持った上ですり合わせをしていくというようなやり方もあるかなと思っております。

今、部局のほうでは後者のほうの整理が必要だなというふうに考えておりますので、

そういうような形でお答えをさせていただいたというところです。

○本間委員長 念のための確認なんですけど、今、あらゆる可能性を排除せずはどちらにかかっているかみたいな話があったと思うんですけど、これは今の発言を見ると、保護者をはじめ、市民のご理解をいただくためにはあらゆる可能性を排除しないのか、各種ニーズ等を子育て環境の充実に向けた取り組みのためにあらゆる可能性を排除するのかというのとどっちにかかっているかも、ちょっとここは曖昧だからというような、今はそういう意図ですか。

○平岡委員 平岡です。

すみません、ちょっとそこまでゼロ100のお答えをしたつもりではなくて、両方を含めているんだろうというふうに現時点では理解をしていますので、当然前のほうにもかかっているというふうな理解はしております。

○本間委員長 何でお伺いをしたのかと思うと、それは一言聞けばすぐわかる話なのかなと思って、だから、それも聞けていないのかなというのがちょっと心配になったので、今ちょっとお伺いをさせていただきました。

○大澤委員長 小林さん。

○小林委員 さくらの小林です。

各委員がおっしゃられていたように、今まで民営化に関しては、とにかくなぜ民営化が最良の選択と考えるに至ったのかみたいな材料の根拠が資料として提出してくださいと再々言われていたものが出ていないということに関して、このⅢ期の中でもその資料は出てこないんですかね。それが出していないという認識はあるわけですよ。今後出す予定があるんでしょうか。そういうものをちょっと教えてください。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

先ほど申し上げたように、現時点で整理しているというお話は前段申し上げたとおりですけれども、今までお話をいただいている、会議の中でもこちらとして考え得るものについては、出せるものについては出してきたという認識はありますけれども、それに対して、これは委員の皆様の中では、これではないというお話をいただいていますので、市側の認識としては、全く出していないという認識ではないんですけれども、納得いただく形で全て出せてはいないという認識には立っていますので、それについて出してくださいというお話をいただいていますので、こちらとして出すべきものであるという認

識に変わりはないところです。

○小林委員 出す準備をしているという、これじゃないと差し戻すか、ちょっと足りませんよという要望で、保護者が納得いくまで、この資料ですと出せる準備はしているということですか。ということですよ。

○平岡委員 平岡です。

ですので、ちょっと繰り返しの言い方になってしまって申しわけないんですけど、こちらとしては説明に必要だというものについて、過去にはまとまったものをお出したこともありましたが、物すごく細かく切ってパーツで出したものもあったかと思えますけれども、結果として求めているものではないですよというところで、今終わっているかと思えますので、引き続きこちらとしては求めているものはこういうものだというここと出していく準備は今後も続けていくことになりまして、準備だけしているわけではなくて、準備ができればお出しする形になるということになると思います。

○小林委員 じゃあ、こちら側が、その資料が出てくるまでは、民営化の是非についてみたいな議論がまずできる状態にはありませんねというふうに伝えているということも認識されているわけですよ。

○平岡委員 平岡です。

それは、たしかⅢ期より前の段階のお話だったかなというふうに思っていて、そのとき保護者の方々からおっしゃっていただいたことが変更になっているとは思っていませんので、そういう保護者の五園連さんというか、運協の保護者委員の方々のそういう意思があるというのは市としても理解しています。

○小林委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

角田委員。

○角田委員 けやきの角田。

ちょっと、今いろいろ伺っていて、ふと思ったんですけど、今、市長の答弁内容についてもいろいろどうということなんだろうかという整理をされているということなんですけど、でも令和4年、再来年に民営化を実施するということは変更はないんですよ。

○平岡委員 平岡です。

冒頭の発言でもさせていただきましたとおり、現時点ではご質問いただいたとしても今までと違うお答えをすることは無いというふうに前置きをさせていただきましたとおりで

すので、おっしゃるとおり、今の時点で変更するというお答えをすることはないということになります。

○角田委員 じゃあ、ちょっと質問の仕方を変えます。

じゃあ、スケジュールについて検討内容に含まれているということではないということですか。今、庁内で検討されている内容にスケジュールについては含まれないという理解で大丈夫ですか。

○平岡委員 平岡です。

ちょっとはっきりとしない答えになるかなと思うんですけども、含める含めないも含めて整理が必要かなと思っています。

○角田委員 いや、わからない。わかりましたと言えないんですけど、それじゃあ、ちょっと本当にこの協議会をどうしていかれるおつもりなんですかということなんですよ。そこも含めるかどうかもちっとわからない。今後、何を話していくかもわからないって、すごくやっぱりおかしな状況だと思うんですけど、それはいつ解決されるんですか。

○平岡委員 平岡です。

今、具体的にここまでというところまで目標設定をしているわけではありませんけれども、今このような状況が長く続くことは正常な状態じゃないというのは理解してはおります。

○角田委員 ありがとうございます。このⅢ期においても、多分市長の発言があったから今回は資料を何も出せません、説明もできませんということが何度かあったというふうに記憶しているんですね。なので、そのたびに何かがとまってしまっている状況が続いているので、やはり健全に協議を進めて信頼関係を維持していくためには、その点の不透明さも改めていただかないとちょっと困ってしまうので、よろしくお願いします。

○平岡委員 すみません。わかりました。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

大越委員。

○大越委員 大越です。

今まで民営化について、深く議論されたのは児童福祉審議会、平成18年に行われた審議会はちょっと内容を見るとこのときもかなり、この資料を見させていただくと、会議の開催自体がもう24回、起草委員会も34回、施設の見学にももう14回ぐらい行っていて、公立保育園とか学童保育とか、もうピノキオのこととか、すごくいろいろ書

かれています。

そこで答申を見て、結論のところは市立園、公立園を1園民間委託した場合の財政的な効果についても十分な効果が速やかに生じると判断することができません。民間委託による保護者の不安の増大、公立園に在園する乳幼児への影響も懸念されますが、問題を生じさせずに民間委託に移行する方法が見出されていませんというふうに書かれていて、さらに、公立園における保育の特徴と質、これまで担ってきた役割、市職員である保育士の資質と専門的力を踏まえると、今後の子育て支援における社会基盤としての公立園の存在の意義は大きいと考えられます。公立園1園の民間委託を行うより、運営費の効率化を図りつつ、現行の公立園の体制を維持した上で改革を実施するほうが効果が期待できますというふうに書かれています。

なので、ここではこういうふうに結論づけられていて、多分財政的な話もすごくされたと思うんです。それも踏まえて、本当に民営化が必要なのかというところ。それか、もう自分たちはそのときいなかったから、その議論は知りません。今、ただ、市長が言うからやらないといけないというところもあるんだと思うんですけど、この児童福祉審議会のこの結論はどういうふうに、あれですかね、市としては受けとめてそういう提案をされていますでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

児童福祉審議会から、今読み上げていただいた結論が出ているということは、私どもも当然理解はしているところであります。

それから、期間がたっているという状況もある中で、当然、その結果が消えてしまっているわけではないというのは認識しておりますので、こちらとしてもその答えに対して現状どういう状況にあるかということも、やはり確認して、説明できるような準備をしないといけないという理解はしておりますが、そのときの状況から比したとしても、市としては民営化に進んでけるというふうに判断したのは事実であります。

ただ、きちんとした説明ができるような準備をしているわけではありませんので、そのような準備も必要であるというふうには思っております。

○大越委員 大越です。

これを超える議論というのは、多分その後どこかでされているわけですか。この児童福祉審議会の踏まえて、さらにどこかで、じゃあ民営化についてどうなのかというのは議論されていますでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

今おっしゃっているのは、多分このような公開の会議体ないしで継続的に議論しているかというお話かなというふうに思いますけれども、過去に保育検討協議会という会が開催した中で、全てじゃなくて若干議論はあったかなと思いますけれども、それ以外の部分については内部で検討したというような形になるかなと思います。

○本間委員長 多分、今の議論で、角田さんが先ほどご質問させていただいたのと絡むと思うんですけど、結局知りたいのは、児福審があつて、保育検討協議会もあつて、今保育園をつくらうとしていますけど、そういうのも踏まえた上で、裏で多分部局としては、でもやっぱり民営化すべきだよなというふうに思っているんだと思っていて、その決断自体の是非はちゃんと根拠があるものだと思っているので、そこの根拠を知りたいというだけで、なので、市長がこの直前に11月に発言、11月なんでもう結構たっているんですけど、11月に発言されたからどうこうじゃなくて、この後多分2年以上ですよ、少なくとも民営化の話を運協でしたいよというふうに市からぜひご提案をいただいたというところ、これはありがたいと思っているんですけど、このご提案をいただいてからももう2年たっちゃうので。

この数年間というか、少なくとも2年間にはいろんな準備の期間はあったと思っていて、そこの根拠というのはぜひ、じゃあ、最初の入り口としてくださいねと言って、ずっととまっていると思うので、そこは結局市としては出せると思っているのか、もうちょっと保護者に出せるようなものではないなと思っているのか、ちょっとその辺をちょっとお伺いをしたいんですけれども。

○平岡委員 平岡です。

市としては、出す必要はあるというふうには思っております。これまでも不十分、もしくは全然違うというご意見が多かったと思うんですけども、市としては何もしていなかったというふうには思っておりませんが、市として今までもこちらの考えとしてはお出ししてきたものはあったかなと思っております、それが不十分であったり、見当違いだというご意見をいただいたこともあったかと思うんですが、市としては今後そういうものについてはお伝えをしていく、出していくということは必要だというふうには思っています。

○大澤委員長 大島委員。

○大島委員 わかたけの大島です。

市として検討は、たしか民営化のときの検討はして、終わっています。資料は提出するつもりはあります。ただ、私たちから見ると資料は提出されていません。これが意味することというのは、そもそも検討自体が不十分であったんじゃないかと思えないんですけど、その辺についてはいかがでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

私どもとしては、不十分であったという認識には立っておりませんが、不十分であるという結論に今後なることはないとは言えないかなとは思っています。

言い方がちょっと正しくなかったのかもしれないんですけど、私たちとしてはきちんと検討してきたというふうに思っておりますけれども、ご説明をしていく中で、不十分であるというようなご意見も出ているような状況もあるのかなとは思っておりますけれども、私たちとしてはきちんと検討してきたというふうには考えております。

○大島委員 大島です。

検討した結果を、今、出し惜しみしているわけではないというお話をいただきましたので、出してもらっている現状できちんと皆さんが納得できないのであれば、それは不十分という結論が一般的なものじゃないでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

こちらのほうとしての説明が不十分な部分は、少なくともあるかなというふうには思っております。

○大島委員 検討は不十分ではないということは変わらずですか。

○平岡委員 平岡です。

はい。現時点では、そのように担当としては考えております。

○大島委員 重ね重ねになりますけど、その十分な検討結果を提出いただきたいと思います。

○本間委員長 すみません、ちょっとこれは意見になってしまうので申しわけないんですけど、私は、ちょっとこの場でも再三お話をしていることではあると思うんですけど、もし仮に検討はすごく十分にされていますと、それは児福審だけじゃなくて、保育検討協議会、各種協議体もそうですし、ただこの運営協議会の中でもI期とかは視察なんかもしていたりするので、そういうところを踏まえて、ここに出た議論も踏まえて、やっぱり、その時々で修正したこともあると思うので、今の結論に至るにはこういう過程があって、こういう検討をしたんですよというのを、もし十分されていたとして、仮に見せ方の問題だけなんだとしたとしても、ここにいる保護者委員、少なくとも10名に、十分説明

ができないものだとすると、市民の理解というのは多分得られないんだろうなというふうに、個人的には思うので、少なくともこの運営協議会では十分納得できるような資料をつくる必要があるんだろうなと、これはすごく個人的な意見ですけども、お願いさせていただきます。

○大澤委員長　ほかにございますでしょうか。

○中委員　小金井の中です。

もう、市側だけでのもうお考えだと、正直、我々市民は満足できないというところまでもう来ていると思いますので、多分、さっきもありましたけど、あらゆる可能性を排除するためには、市側だけではちょっともうわからない箇所が多過ぎますから、現場と保護者と市で、どんなところが考えられるかというところをみんなで持ち寄って話し合わない、多分もう我々みんな満足はもうできないかなというふうには思うんですけども。

あとは、あらゆる可能性を排除するためには、ちょっと角田さん、何か手はありますでしょうか。あらゆる可能性を排除したいんですけど、そうなんですよ。

○角田委員　平岡さんが安心しちゃっているじゃないですか。

○平岡委員　ちょっと想定外だったんです。

○角田委員　私もちょっとびっくりしていますけど、球をもらうと、確かに4年ほど前にこの民営化の方針を出されたときから比べても、状況は刻一刻と変わっていて、小金井市よりも予算が潤沢とされる23区内でもやはり待機児童問題は解決してなくて、新しい園をつくっていくことを考えているんだけど、民営化を同時に進めると人員確保の面で競合してしまうから、ちょっとその辺は調整しましょうという考えを表明する場所もあったりとか、あと、この数年を見ても、保育士さんの有効求人倍率が都内でもはね上がっている中で、保育計画の資料の中でも都がやっている施策を中心に頑張りますみたいなことを書かれていたんですけど、ちょっとそれじゃ追いつかないんじゃないかなというのが正直なところで。

この運協の中で仮に民営化した場合に人員は集まるんですかという質問があったときに、市としては民間のほうが待遇がいいから大丈夫みたいなお話をされていたんですね。だけど、その後の報道等を見ると、実はそういった補助金がちゃんと保育士さんのところに戻っていなかったみたいな事例も多々見受けられているような状況で、やはり考え直すべき点もいろいろ出てきていると思うんですよ。我々が見える場では一体どんな検

討をされてきたかはわからないんですけども、仮に十分な検討がされてきたのであるとすれば、4年もちょっとその資料が出ないというのは理解できないし、毎回この部分が足りませんというか、こういうものが欲しいんですということもお伝えしている中で、ちょっとこの2年を過ごしてしまったというのは非常に残念なので、そこはやはり市のほうできちんと対応を改めていただきたいなというふうに思います。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

大越さん。

○大越委員 大越です。

本当に平行線だなという、ちょっと割と印象がありまして、市としては本当にお金のところで民営化したいというところと、保護者としては質を落としてほしくないというところで、なかなか合致するところは見出せないかなというちょっと印象も今すぐありません。結構もやもやと保護者もしている状況です。

保育の質というところでは、今、保育計画策定委員会をやっていると思うんですけども、以前に資料214で運協で出していた資料、スケジュールが出ていると思うんですけども、保育計画で検討された内容が、この運協の最終回のところで矢印が出ていて、調整、整合というふうな形で出されているんですけども、保育計画を反映してというところで理解は合っていますでしょうか。

○平岡委員 平岡です。

保育計画を反映しているという部分については、以前もお話ししたとおりであります。ただ、保育計画自体ができるまで民営化に関する書類関係が全く作業としてできる、できないということはないというふうなことも申し上げましたので、最終的なすり合わせという考え方が新たに加わったり、変更すべき点があれば変更するという趣旨で整合をとるというか、影響を受けるというかということはあるというふうに思っています。

○大澤委員長 大越さん。

○大越委員 大越です。

ということは、もう保育計画がまとまらない段階で民営化についての議論を進めるという理解でよろしいですか。以前から、委員からは保育の質としてどうなのかというところがなかなか見えないという話もあったかと思うんです。このスケジュール見ても、その影響を受けているという矢印かなと思うんですけど、ちょっとその辺の理解は、私まだよくわからなくて、ちょっと教えていただきたいんですけども。

○平岡委員 平岡です。

冒頭申し上げたとおり、現時点ではスケジュール部分もそうですけれども、こちらとしてはお答えできる答えは変わらないというお答えをしたかなと思っておりまして、今おっしゃっている趣旨は私としては理解するところではあるんですけども、今こちらのほうで提示しているスケジュールの中で、整合はとっていくことになるなというふうに思います。きょうお答えできるとすれば、そういうお答えになるかなと思います。

○本間委員長 私が、結構前から言っているのは、そういう点であって、この運営協議会の中に資料を提供していただいている、協議をしているんですけども、市の部局の中での、先ほどのあらゆる可能性を排除せずに検討してきたという中に見えてくる資料の中に、例えば運協でこういうスケジュールの、先ほどの保育計画との関係性も含め、いろいろと意見が出たものについて、こういう意見があったから市としても部局の方針に反映されていますよとかというのが何一つ見ないんです。なので、結局この運協で保護者がいろいろな意見をしても、全く聞いていないのかなという印象を、これは印象ですけど、ちょっと持たれていると思うんです。

そういうところがやっぱり積み積もり積もりと後々本当に民営化しようとなったときに、保護者の協力が得られないと思うんですよね。なので、それは再三申し上げたように、そういう一つ一つの積み重ねが信頼につながるの、市としては本当に気をつけてもらいたいという話を私からもさせていただいていると思うんですけども、残念ながらこの段になって、何も出てきていないので、きょうも残念ながらちょっと全体感の資料というのは出てきていないんですけども。

だから一応今後、もうⅢ期は終わってしまうので、Ⅲ期、Ⅳ期というところでは、十分そこは気をつけていただきたいなというところとして、大越さんから今ご質問があったところですけど、これもスケジュールをご提示いただいたときに、仮に百歩譲って、保育計画ができ上がってなくても民営化のところで、例えば何で民営化をしたいと市が思ったのかということについても質疑応答とか入れる、入れるという言い方もないですけど、一切民営化の議論ができないとは思っていないので、できる場所はあるんだろうなというのは十分理解した上で、でもガイドラインとか、事業者の選定のガイドラインであったりとか、保育計画に大きく影響がされそうに思うようなものについても、もう保育計画できる前にほぼほぼでき上がっちゃっていますみたいなスケジュールだったので、それは余りにも違和感がありますというのはご指摘させていただいたとおりで、

なのでこのときも手戻りが発生しますよねという話をして、結局そのときも議論は平行線だったんですけど、結果、角田さんが先ほどご指摘いただいたように新たなスケジュールがその後ずっと出てきていないですねというのが現状だと思うので。もうこの議論を今後していくに当たっては、この運営協議会での議論というも踏まえた上で各種資料を出すように、ちょっとそこはお願いをさせていただきます。

○大澤委員長　ほかにございますでしょうか。

大島さん。

○大島委員　わかたけの大島です。

お願いという言葉は何十回、何百回としていると思うんですけど、私の理解では普通の会議であれば、次回までに何々を提出いたしますとか、約束なりをして次回に進もうと思っています。この会議では、そうは今なっていないんですが、じゃあ、今民営化の資料は説明してもらったものは出ていないんですが、じゃあ次回は出てくるんでしょうか。次回は3月の協議がありますけど、そのときは出てくるんでしょうか。

○平岡委員　平岡です。

前段で言っていた部分についてもあるので、大変申しわけなく思っておりますが、現時点で次回出しますというような形での整理を現状、行えているところまでは至っておりませんので、今の時点では、こちらとしては出せるのであれば出しますというお答えしか、ちょっとできないという状況でございます。

○大島委員　質問を変えますが、次回は出ないんでしょうか。

○平岡委員　平岡です。

同じ答えになってしまうんですけども、出せる状況であればお出しさせていただきます。

○大澤委員長　鈴木さん。

○鈴木委員　くりのみの鈴木です。

今の大島さんからのお話あって、こういうものをお出くださいというものの議論が多分、この2年間同じ、ずっと繰り返したと思っていて、いろんなご事情があるのは十分理解してはいるんですけども、じゃあ、具体的に次、3月に出せないのであれば、その次の会議までにこういうものを準備して、こういうものを協議したいですという、その議案なりはもう4カ月あるので、次の次の会にこういう議題を整理したいですというのは、この次の3月には骨子として出せるんじゃないかなと、そういうもうちょっと先

の、こういう話がしたいです、なのでどうでしょうかというのでまた来月、3月に議論ができれば、それが無い中で毎回毎回、次までに検討します、準備しますと言って、ずっときている状況なので、次回開催までには、そのⅣ期に向けての議題がある程度議案なり、具体的な形で出てくることをちょっとお願いしたいというふうに思っています。

○大澤委員長 今のは、ご意見というか。

○鈴木委員 そうです。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

○本間委員長 これだけお願いなんですけど、きょうの場でも11月の市長発言というのが若干キーポイントに上げられていたんで、この市長の発言がどういう意図だったのかというところのご確認だけはお願いして、3月には少なくともその確認の結果をフィードバックしていただくというのは可能ですか。

○平岡委員 平岡です。

それについては、こちらのほうでお答えしたいと思います。

○大澤委員長 今、民営化につきまして、るご意見をいただきました。第Ⅲ期、第Ⅱ期のときもそうなんですけども、出された意見または資料で要望されているものというのは、我々としても認識しておるところでございます。そういったものも含めまして、本日につきましては、ここまでとさせていただきます、また3月につきましても出せるものは資料を出させていただきますつつ、あと今本間さんのほうから言われた市長のこの答弁を踏まえての検討状況というところがまたお話しできるような状況であればお話をさせていただくという形で、引き続きまた3月のほうにも議題とさせていただくような形で、本日は終了させていただきますきたいと思います。

次に、(3)の当面の課題についてを議題とします。

本日、資料240で職員の募集配置状況の資料を用意してございますので、こちらのほうにつきまして、三浦委員のほうからご説明をお願いします。

○三浦委員 それでは、資料240でございます。ホチキスどめの資料でございます。

今回につきましては、10月15日から11月現在の情報、並びに11月15日から12月15日現在の情報について一表にしたものです。毎回出しているものと体裁は変わってございません。

現在、欠員を抱えている職場がございますけれども、今月も採用試験を打っている状況、あるいは正規の募集なども今打っている状況でございます、できるだけ早く欠員

の状況については解消したいと思っておりますが、現状12月15日現在につきましては、資料のほうをご参照いただきたいと思います。

以上です。

○大澤委員長 今、資料240につきまして、ご説明をさせていただいたところでございますが、これらを踏まえまして、ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

○間委員 小金井保育園の間ですけど。
保育士さんの正規の職員の募集は何名ぐらい。

○三浦委員 保育課長でございます。
ちょっと採用にかかわることなので、何名と明確には言えないところなんです、市報でいきますと若干名で募集をしております。

○間委員 今、募集中。

○三浦委員 募集は締め切りました。今、選考中です。

○間委員 小金井の間ですけど。
先日、小金井保育園の父母会でも、12月に3歳児のクラスの担任の方がおやめになったということで、補充がないまま多分4月を迎えることになるんじゃないかなと思っ
ているんですけど、子どもたちも不安ですし、私たちが4月以降もすごい心配なので、
なかなか正社員が募集かけられない状況なのかもしれないんですけど、一般任期付の職
員よりは正社員のほうがやっぱり安定して働けるというのがあると思うので、なるべく
前向きな採用をこれからもお願いしたいです。よろしくお願いたします。意見です。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

角田さん。

○角田委員 けやきの角田です。

今の一般任期付の話に関連するんですけども、もともと任期付職員さんの任期とい
うのは、ことしの3月までの方が多いというふうに聞いたところがありまして、以前、
多分この運営協議会でも、そのあたり状況はどうなんですかというふうに伺ったんです。
そのときはまだ答えられないみたいなお答えをいただいたんですが、やはり4月の状況
がそろそろ影響してくると思うので、そのあたり、4月の時点での体制面についてわか
っていることがあれば教えていただけますか。

○三浦委員 保育の三浦です。

3月までの方につきましては、確かにいらっしゃいました。個別には園長を通じてお

声がけをさせていただいて、引き続きどうかということで、試験の受け直しという形にはなりましたが、そういうことでお声がけはさせていただいた経過がございます。

4月以降の体制でございますけれども、私のほうもちょっと採用というところになってくると、なかなかお答えしにくいところがありますけれども、園長もいらっしゃるところでもございますし、4月以降の体制については、できるだけ早く確定をしていきたいというふうには思っております。

○角田委員 ありがとうございます。

じゃあ、現時点では、延長みたいなことをされた任期付の方もいらっしゃるものの、4月の段階でどういう状況になるかまではわからないということですか。

○三浦委員 非常に微妙なところなんですけれども、お声がけをさせていただいたことはございますけれども、その方がお受けになったかどうかというところは、私のほうは答弁できないです。申しわけないんですけど。

○角田委員 そうなんです。そうなってくると、もう既に小金井のほうで、担任が埋まらないみたいな状況が出てきてしまっている中、この職員の募集配置状況を見ても、大体臨職さんにしても多少変動があるにしろ、非常勤さんにしても欠員が多分多いときのピークの状態が続いちゃっていると思うんです、この数年間。それについて、このⅢ期が始まって一時期は何を見て採用、応募してくださったのかということの確認を始めましたみたいなご報告をいただいたんですけど、何かそれもいつの間にか報告がなくなっているような状況で。

それをお願いしたのも、いろいろな数字をどう分析して、どんなふうに捉えて、市としてどうしようと思われていますかということも伺いたくて確認させていただいたんですけど、ちょっとそれもなくなっている状況で、もう何年も臨時職員さんが十数名いないような状況が続いちゃっているので、ちょっと1月のもう半ばの段階で4月の状況はよくわかりませんみたいなお話をされてしまうと、ちょっと本当に民営化どころではなくて、そもそも保育の体制が非常に危険だなというふうに感じるので、その点については、きちんと状況を教えていただきたいと思います。

○三浦委員 三浦でございます。

前段申し上げましたとおり、今ちょっと採用試験を続けている状況です。ここの部分の、合否について、今私が申し上げることはできませんので、もし任期付、あるいは育体で足りなければ、引き続き再度の試験を打っていただくアプローチを、私は採用担当

のほうにかけていくという形になろうかと思うわけです。申しわけないんですが、採用については私の所管を超えていく話なので、体制が厳しいというところも十分認識してございますので、ご意見を踏まえてきちんと採用部門のほうにはアプローチをしていきたいと思っております。

○角田委員 よろしくお願ひします。

○大澤委員長 ほかにございますでしょうか。

小林さん。

○小林委員 さくらの小林です。

今、ちょっと前回の11月16日開催分の意見提案シートを読んで、別途思ったことで、私もあんまり確認がされていないんですけど、保護者委員作成の資料234についてというものの意見で、何か、さくらが任期付を足しても平成15年よりも保育士が2人に減っている原因は何なのでしょう。さくらは厳しいと数年前からちまたでは言われていますが、それが数字で明確になったように思いますと書いてあるんですけど、それについての回答はありますか。それ、聞きたいんですけど。

○平岡委員 平岡です。

こちらの人数のときの件については、たしか、前回のときにお答えしていなかったとしたら恐縮なんですけれども、つくっていただいた数字自体が合っている合っていないという話をしているわけではなくて、表のつくりとか、カウントの仕方が同じ状態の中でとっている状況ではないので、単純に引いた数がどうかというところについては、ちょっとこちらに戻って確認をしなければいけないというふうに思っていたところではあるんですけど、大変恐縮なんですけど、もう10年以上前の状況ということで、具体的にこの表をつくるに当たってのベースにある名簿が残っているわけではなく、すぐさまこれについてのご回答が準備できる状況でないというのが今の現状です。

ただ、市のほうとしては、その配置する職員自体が以前よりも減っているという状況は、採用ができなかったとか、一時的に臨職の方がいなかったとかということでもない限りは基本的にはないかなというふうに思っていますので、ことによると、例えば育休、産休など、もしくはある程度の期間不在だけれども籍のある方がいて、その方とのダブルカウントが例えばあったとか、ちょっとそういうようなあたりもこちらとしては気にかけているところであります。

ですので、ちょっと調べがどこまでできるかどうかというところはあるんですけど

も、今確認は行っているところではあるのでちょっとお答えとしてきちんとできるかどうかというのは、大変申しわけないんですけども、ちょっと期間がかなりたってしまったので約束はできないんですけども、今の現状をお伝えすると、そういう状況ということになります。

○小林委員　　ちょっとわからないんですけど、さくら保育園だけがここ、何というか、職員さんがだんだん減っているというわけじゃないということなんですか。という意図ではないということでしょうか。

○平岡委員　　すみません、平岡です。

数字の話なので、感覚的にお答えしてしまっただけとはいけないと思うんですけども、さくらだけが職員が減るということは、基本的に想定しにくいですので、カウントの仕方ですとか、そのときの体制のとり方によっての数字の関係があるかなというふうに思っていますので、正規の職員の定数何人、子どもさんに対して何人とか、定数何人というところは基本的には決まっています、それについて一つの園だけが違うとかということとは、状況が同じだから、その園だけ違うというのは基本的にはちょっと考えられないものですので、こちらがどういう数字の計算の仕方をもってそうなったのかというのが、繰り返しで恐縮なんですけど、10年以上前なので、確認できればさせていただきたいんですけども、そうでないとしたら基本的にはそのような経過はこちらとしては把握はしていませんので、説明できる確認ができれば説明したいというふうには、その数字の部分で説明できる部分が確認できれば説明したいと思っています。

○小林委員　　お願いします。別に、もちろんですけど、民営化の順番に関連して、この園の補充、職員の補充に差があるとか、そういう意味の意図は特にないわけですよ、市としては、

○平岡委員　　平岡です。

今、一般任期の方の補充の仕方というか、採用の基本的な考え方を申し上げますと、一般任期の方を新たに採用し始めたときの最初の考え方としては、退職が出た方を任期のない方ではなくて一般任期の方を採用するというやり方を、まずとってきました。ですので、退職の方がどの園にいらっやっったのかが、その一般任期の方を採用する理由になっているというのがもともとあります。

その後、民営化の件で職員団体と合意をした以降については、退職、正規の、任期のない正規の退職分については、任期のない正規を採用することに、最終的に変更しましたので、任期のある方が園を動くというのは、期間としても10年も20年も使ってい

る制度ではないので、任期のある方が園を異動するというのは基本的にはないやり方をしているものですから、そういうルールでやっているの、今ご心配いただいている民営化として名前が挙がった園だから任期のある方が優先的に採用されているとか、そういうふうな手法をとっているということは決してありません。

○大澤委員長　ほかにございますでしょうか。

それではないようですので、こちらのほうの議題はここで終了させていただきたいと思えます。

5時半になりました。このまま、すみません、続けて進めさせていただきたいと思えます。

(4) 第Ⅲ期の締めくくりについてでございます。

こちらのほうにつきましては、本協議会につきましては、第Ⅰ期の開始に際しまして、市と五園連とで小金井市公立保育園運営協議会の運営方針に関する覚書を結んでおるところでございます。

その中で、可能な範囲で報告書をまとめることとしておる記録表もでございます。

これらを踏まえまして、第Ⅱ期におきましては、第Ⅱ期における協議経過については、次の期となる第Ⅲ期、いわゆる今期への引き継ぎという点を重視した申し送りを書面にまとめ、引き継いだ経過があるところでございます。

第Ⅲ期におきましても、この覚書の趣旨を踏まえ、期を終えるに当たりまして、来期の運協への引き継ぎとなるものについて書面で残していくこととなりますが、本日の会議では、その手順、進め方について確認をさせていただきたいというふうに思っております。

まず、作成する内容につきましては、第Ⅱ期におきましても主に第Ⅲ期への引き継ぎや申し送りという趣旨で作成したところですが、今回も同様の範囲で作成していければというふうに思っております。

また、実際の作業手順といたしましては、委員の皆様で支障がなければ、3月の会議までに保護者委員と市とで調整を図りながら案を作成し、3月の会議で資料として出ささせていただき、委員の皆様を確認していきたいというふうに流れでいかかというふうに思っております。

以上のような形で進めさせていただければというふうに思っておりますが、こちらのほうにつきまして、ご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

宗片さん。

○宗片委員 その資料を3月までの間にやりとりするというのは、今期のまとめの資料をつくって、それを意識合わせするというところでよろしいでしょうか。

○大澤委員長 はい。

○宗片委員 だとすると、今期のまとめの資料もそうなんですけど、次期の申し送りという意味では、今保護者がどの部分に、説明をこれまでいただいた資料の中で、どの部分に納得していないのかとか、そういうところも意識合わせしたほうがいいのかなど思っていて、結局今まで資料は出てくるけど、いや、保護者はここ納得していませんよというのが何回も繰り返されていて、一体、市としては、どこに認識のずれがあるのかというのをどこで認識しているのかなというところがちょっとわからなくなっていて、そうするといつまでもずれ続けるので、市としてはこの説明をもっとしないといけないと思っていますという話と、保護者からはこの部分をもうちょっと丁寧に説明していただきたいんですというところを始めないと、ただまとめ資料だけつくって、じゃあよろしく願いしますと引き継いでも、じゃあまた一からまた議論する話になるので。そもそも意識合わせの認識のずれみたいなところを直さないと、結局同じことがまた繰り返されるのかなと。

その部分、もう一回やったほうがいいのか、ちょっともう時間もないんで、できるかわからないんですけど、それがないと、またずっとずれ続けるのかなという気がするので、そこをやるのはどうでしょうか。

○大澤委員長 市側と保護者側のずれというところの確認というか、整合というんでしょうか、そういったところのご意見かと思っております。

ほかにございますでしょうか。

大島さん。

○大島委員 わかたけの大島です。

資料につきまして、今まで出していたものがまた載ってくると思うんですけど、まとめとして。ただ、それがまた本日の段階では、特に内容が変わっていない、例えばスケジュール等は変わっていませんというお話ですけど、それが変わる検討をしているのであればきちんと明記していただきたいし、現時点ではこうですけど、これはこういうふうに検討していますとか、それもないと、それは正なのか、変わるものなのかかわからないので、そこは記載の仕方としては書いてほしい。ただ、きょうの言っていたい

た内容ですと、現時点で、きょうの時点では変えられないという言い方をされましたので、具体的にどう変わるかということはその時点で決まっていなくても、変わる検討中であるような書き方をしていくべきかなとは思いますが。

○大澤委員長　ほかにございますでしょうか。

○本間委員長　若干補足になるんですけど、まず1点、ここはご意見で、引き継ぎは申し送りという趣旨でというところなんですけれども、Ⅱ期からⅢ期の場合には、運協にて民営化の議論をしたいのという市側からのご提案もあったというのがあって、じゃあ引き続き協議しないといけないのはこういうことだなというのもあったので、引き継ぎ資料というのがメインの趣旨だったとは思いますが、残念ながらこのⅢ期は、先ほど角田委員からもあったように、じゃあ第Ⅲ期は、もし運協を変えるのであればどのように変えるんですか。変えないんだとしたら、じゃあどういう議論をしたほうがいいのかと思いますかねというところをずっと2年間やり続けて終わってしまったので、体系立っての議論ができていないと思っています。というところなので、ちょっと趣旨のところは、単純にこの議論はⅣ期で継続してほしいですよというような引き継ぎ資料にはならないのかなと思っています。

なので、今回つくるまとめ資料というのが、引き継ぎは申し送りなのか、そうではなくて、例えば第Ⅲ期は実りある協議はできなかったんだとすれば、なぜそうだったのか、もうちょっとそこをどう反省すべきなのかという総括的なところも含める必要があると思いますし、今、宗片委員や大島委員からもご指摘のあったような点というところも含めて、じゃあどんなまとめ資料にしようかねというところも検討する必要があると思いますので、この趣旨というところも含めて一回ちょっと持ち帰って、3月の最後ではそこも含めて出すというところで進められればなというふうに思います。

だから、ちょっと趣旨もちょっときょうの時点では、まだ決められないのかなというふうに思います。これはご意見です。

○大澤委員長　ほかにございますでしょうか。

今、3人の方からちょっとご意見をいただきました。ちょっとそれらを踏まえてちょっと中でまたまかせていただき、また改めて本間委員長と調整をさせていただきながら、またそれを皆さん方にまたフィードバックさせていただくような形とさせていただきたいと思っています。

それでは、(5)のその他のほうに移らせていただきたいと思います。

保護者委員のほうから何かございますでしょうか。

では、ないようですので、次回の会議の日程につきましてでございます。

次回の日程でございます。既にご案内のとおり、3月14日の土曜日、午後3時半から開催をしたいと思います。場所は、本日と同じこの801会議室が会場となりますので、よろしくお願いいたします。

以上で本日の日程は終了させていただき、散会させていただきたいと思います。大変お疲れさまでした。

閉 会